

中学生の頃までの私は学ぶことはひたすら暗記をするだけの面白みのないものだと思っていました。ですが、進徳女子高校選抜コースでの3年間の学びがこの考えを変え、私にもっと学びたいと思わせてくれました。

高校では世界が抱えるあらゆる問題を学びました。また、被爆者の方、JICA 職員の方、大学生や青年海外協力隊の方などの出前授業やクラスメイトとのディスカッションを通してそれらを深めてきました。特に印象に残っているのは、マララ・ユスフザイさん、グレタ・トゥーンベリさんのスピーチの英文を学んだことです。同じティーンエイジャー、そして女性であっても行動されている姿を見て、自分が年齢や環境のせいにしてばかりいたことを後悔し、私も自分の信念を貫いて行動することができる女性として世界で活躍していきたいと強く思うようになっていきました。

そのような思いを抱いていく中で、自分自身で出前授業を企画・運営したり、クラスメイトとオープンスクールを企画・運営したりしました。自分の力で考え、行動する中で失敗もありました。ですが、今振り返ってみると、それらは自分と向き合う貴重な時間だったなと思います。そして、成功させることのできた時の喜びや達成感は今までに感じたことのないもので、これからももっと新しい環境に挑戦し、自分自身の力で行動したいと思うようになっていました。

そのような中で出会ったのが叡啓大学です。当時の私は夏休みに入っても進路が決まらず途方に暮れていました。(笑) ですが、叡啓大学のオープンキャンパスに行った際に新しい環境で前向きにチャレンジしておられる在学生の方々の姿を見て、私も先輩方のように挑戦したいと強く思ったため志望しました。

入試中は不安なことも多くありましたが、自分の高校3年間の学びや経験が背中を押してくれて、最後まで粘り強く頑張ることができました。大学4年間では高校生活の学びを活かし、国際関係学や社会学を学ぶ予定です。